

特定非営利活動法人パートナーシップなとり

令和 2 年度事業報告

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

令和 2 年度のまとめ

令和 2 年度は、指定管理者として指名された名取市市民活動支援センター(以下なとセンという)の管理運営を中心に業務を進めた。平成 27 年度から受託していたなとセンの管理運営業務は、令和 2 年度から新たに令和 6 年度まで 5 年間の指定管理者として当法人が指名され、「指定管理者」としての契約を締結し、改めてなとセンの管理運営を始めることができた。また、平成 29 年度から行っているイオンモール名取のヘルス&ウェルネスイベントへの協力事業であるイオンホール・あおばひろばの活用の取り組みが新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で企業側からの申し出により使用不可となっていたが、6 月から感染症対策を行いながら再開となったことなど、指定管理者として一層円滑な管理運営となるように心がけた。

平成 29 年度に名取市市民協働提案事業として応募した、「名取で輝く市民活動団体一覧」の増版だったが審査の結果、名取市の支援センター事業として取り組むこととなり、指定管理業務の一環として登録団体等のご協力を頂きながら 2021 年 3 月に 500 部制作した。そのうち 170 部を 3 月中に登録団体・市内外公共施設・関係企業に発送した。“なとセンわくわくフェスタ”は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になったが、法人の HP にわくわくフェスタのこれまでの様子や、協賛・協力企業の紹介、実行委員会の団体の紹介を公開した。また、イオンモール名取のあおばひろば、なとらじで市民活動の PR を行った。

スタッフは、令和 2 年 4 月以降も 5 人体制を継続できることとなった。

I 事業に関する事項

法人事業として(下記の中へ)

1. 情報収集及び提供事業

(1) インターネットを活用した情報発信

パートナーシップなとりの認知度向上及び市民活動団体の情報を発信するため、平成 26 年 3 月に立ち上げたホームページを今年度も適宜更新し講座や交流会等の案内及び報告を行った。

(2) 名取の市民活動情報冊子の WEB 上での更新

「名取で輝く市民活動団体一覧」を平成 30 年 8 月から WEB 上で公開している内容に関して、最新情報をネット上で閲覧できるようにするために、新規登録団体の追加や登録事項の変更に対応し適切運営した。

(3) 市民活動活性化事業

なとセン及び市民活動の周知促進と活性化を図り、市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、イオンモール名取のあおばひろばで月に 1 回、計 10 回のパネル展示を行った。

2. 多様な団体との交流・連携の促進事業

(1) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の開催。

姉妹都市(新宮市)について

名取市取り出向している職員の紹介により新宮市ボランティア・市民活動支援センターを運営する新宮市社会福祉協議会 地域福祉部と共にオンライン交流会を12月11日(金) Zoomにて実施した。

(2) イオンモール名取「ハピネスモール」への協力

などセンの事業として実施しているイオンモール名取との各種連携事業（イオンモールあおびひろば利活用、連携強化のための懇談会）などへ参加した。(5-(1)11) 参照

(3) などセンのPRと市民活動の啓発

名取市で主催する春まつり・秋まつりへの出展
新型コロナウイルス感染防止対策のため、開催中止となった。

(4) 名取市市民活動支援センターへの事業協力、共催事業の実施。

業務としては受託業務の範囲ではあるが、当法人の活動として他法人との調整などを行った。

- ① 専門相談会への協力：6回行った専門相談会に対して、当法人からNPO法人イー・エルダ―東北支部と認定NPO法人杜の伝言板ゆるるから相談員を派遣し多様な相談に対応した。
- ② 市民活動講座への協力：7月2回開催と、12月に1回計3回行った市民活動講座の実施にあたり、講師として当法人理事を派遣した他、外部講師等を紹介した。
- ③ 情報交換会への参加：6月21日、7月26日、2月4日に計3回の情報交換会にコーディネーターとして当法人代表理事を派遣した。2月に行った「第5回市民活動団体と企業の情報交換会」では新型コロナウイルス感染拡大中での市民活動する必要性や活動実例を団体・企業双方から聞き、新しい関係構築の可能性を学んだ。
- ④ 市民活動フォーラムへの参加
10月18日に「好きな名取と生きていく～はじめよう、つづけようコロナ禍後のまちづくり～」をテーマに基調講演・パネルディスカッションを行った。また、市民活動団体として、市民活動フォーラムに参加した。(5-(1)-7)参照

3.市民活動団体等に対する支援事業

(1) 市民活動講座に実施

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から市民活動講座を行うことができなかった。

(2) 地域市民活動団体同士の地域連携交流会の実施

平成27年以来6回目となる、などセンわくわくフェスタを新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止した。そこで、開催予定日の11月15日(日)を目途に、過去のわくわくフェスタの様子を写した写真や、実行委員会参加団体、並びに協賛・協力企業の紹介ページなどの特設HPを作成し2か月間公開した。

4.調査研究および資料等の発行事業

今期は尚絅学院大学との共同研究を行うことはできなかった。

5.などセン管理運営業務

(1) 令和 2 年度名取市市民活動支援センター管理運営業務の指定管理者としての実施

名取市と令和 2 年 2 月 1 日に締結した令和 2 年度名取市市民活動支援センター管理運営に関する基本協定書第 9 条 に基づき、令和 2 年 3 月に指定管理者として締結した年度協定書「令和 2 年度名取市市民活動支援センターの管理運営に関する年度協定書」に基づき、名取市市民活動支援センターの管理運営を指定管理者として実施した。実施した管理運営業務は以下のとおりである。

① 名取市市民活動支援センターの管理

貸室、貸事務室、コピー機・印刷機、その他の管理を行った。

② 市民活動支援センターの運営

1)市民活動への情報提供

- ・情報収集と情報掲示を行った。
- ・名取駅東西通路において市民活動団体紹介パネル展と併せて団体参加型共同企画を実施した
- ・閑上公民館、にて市民活動団体紹介パネル展開催
- ・なとりこどもファンダ審査会場(名取文化会館)、などセン情報交流室にて市民活動展開催
- ・ポケットギャラリーでのパネル展中止を受けなどセン HP で Web 版の市民活動展を実施した

2)などセンだよりの作成

31 号から 36 号まで発行した。

3)相談業務

窓口 27 件の相談を受けた

4)市民活動団体向けの専門相談会開催

専門相談会を 6 回行い、1 名・7 団体の相談に対応した。相談内容は助成金、設立運営、IT 関係など多岐にわたった。NPO 法人や一般社団法人の代表者などの専門的な知識と経験のある人達に相談員を依頼し、多様な相談に対応した。

5) 名取市市民活動支援センター市民活動講座の実施

外部講師を招き、4 回の講座を開催した。7 月に 2 回開催の講座内容は新型コロナウイルス感染拡大防止対応策として期待の高まる遠隔会議システム Zoom の必要性などの内容を含む操作講習を実施した。

6)情報交換会の開催

「～市民活動情報交換会～」として 6、7 月は講座で学んだ遠隔会議システム Zoom のフォローアップも兼ねた情報交換会とした。9 月には、市民活動活性化に向け協働提案事業の活用を促し 2 月は第 5 回市民活動団体と企業の情報交換会として計 4 回の情報交換会を実施した。

また、市民活動団体と企業の情報交換会は行政も含め年に一度の定期開催としており、5 回目となる今年度は、名取市、市民活動団体 8 団体の他、企業からも多く参加して頂いた。参加企業は西松建設株式会社北日本支社、宮城トヨタ自動車株式会社 MTG 名取統轄店長、サッポロビール仙台工場、パナソニック株式会社仙台工場、みやぎ生活協同組合、GRACES エステサロン経営者で、新型コロナ禍での企業と団体の取り組みを知る貴重な機会となった。

7)市民活動フォーラムの開催

支援センターフォーラムでは「好きな名取と生きていく」をメインテーマとし、住みよい名取市を目指すために必要なことを具体的に学ぶ機会とした。

私たちが日々の暮らしを穏やかに送るためには、地域力（地域の問題解決力）が重要な時代。地域課題への向き合い方、地域の自律力を高める方法、たくさんの人たちが元気で笑顔になれる新しいまちづくりの考え方を一緒に身につける方法を学ぶ。市民や NPO、自治体などが連携した協働によるまちづくりについても触れ、まちづくりに取り組む市民や自治会、NPO などの方々だけでなく、活動の支援や市民協働に取り組む行政の職員も交え 6 次長期総合計画の実現と市民活動の活性化に寄与する目的で開催した。

コーディネーターのセンスの良さと高い経験値で素晴らしいリードもあり満足度の高い内容となった。ZOOM の URL を協働課が開催前日に市職員ポータルサイトに公開し参加を募った結果 50 名を超える参加となった。アンケート結果から、「勉強になった」「分かりやすかった」など行政・市民活動団体の参加者から高評価を得た。

詳細

■開 会	13:00
■基調講演	13:05～13:50
『まちづくりをはじめよう、つづけよう』	
講師	小地沢 将之 さん
(宮城大学事業構想学群准教授・特定非営利活動法人コミュニティ代表)	
■パネルディスカッション	14:00～15:30
○テーマ	『名取の未来をプロデュース』
より良い名取市を目指す為に向かうべき方向などを、各自これまでの経験をもとにディスカッションし学び合う。	
○コーディネーター	大泉 大介 さん (河北新報社 防災・教育室部次長)
○アドバイザー	小地沢 将之 さん
○パネリスト	
・長沼 俊幸さん (閑上中央町内会 会長)	
・尾形 理恵さん (公民館主事・虹色マカロン)	
・畑中 駿平さん (名取天文台 代表)	
■質疑応答	15:30～15:50
■閉 会	16:00
■会場参加	定員10名
■ZOOM参加	上限100名のところ約50 余名の参加

8)市民活動団体紹介冊子作成事業

令和 2 年度から支援センター事業となった。市民活動団体へ基礎情報と協働についてのアンケート調査を実施し結果の一部を掲載した。団体ごとに SDGs ロゴ表記を加え 500 部作成した。

9)ホームページ・ブログ・みやぎ NPO ナビ名取版の運営

適宜更新をした。

新型コロナウイルス感染拡大の為、各種事業自粛を受けて HP になとセンだより特集や、なとらじアーカイブなどの特集ページを作成公開した。

名取で輝く団体一覧の (2020 版) Web 版を作成し公開した。

10)団体情報管理

令和 2 年度の登録は、新規登録 7 団体 (任意団体は、5 団体、NPO 法人では、2 団体)。登録解除が 6 団体。結果として登録が 1 団体増加した。

11)イオンモール名取との連携事業

イオンホールとあおばひろばを「ハピネスモール」をテーマとして活用した。イオンモール名取連携事業として6月～3月までの10ヶ月で延べ34団体、255人の参加があった。などセンとしては、活動希望団体の申込受付窓口として日程調整、申請書類の受付・送付、イオンモール専門店とのコラボイベントの企画、イオン側からの問合せ対応として団体の紹介、利用団体拡大に向けた広報活動を実施した。また、関係強化のために2月にイオンモール会議室で、団体との情報交換会を実施した。

12)市民活動活性化事業「なとらじレギュラー出演」

市民活動や市民活動支援センターの周知促進と活性化を行うことで市民活動団体の広報力の向上に寄与することを目的として、実施した。毎週月曜日（14:30～14:40）のなとらじレギュラー枠にて団体メンバーまたは、支援センタースタッフが出演し、などセン登録団体の活動紹介やイベント告知などを行った。第5週目は、尚絅学院大学放送団SBCとの共同により「教えて、私たちの知らない社会の姿」と題して、尚絅学院大学教員を中心に市民活動のみならず社会全体の姿について学べる番組を作り放送していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策において尚絅学院大学でも生徒の登校を制限した為、放送団体としての活動が困難になり今年度で一旦終了とした。当法人は、出演希望団体の申込窓口として、日程調整、放送内容の原稿受付を行った。感染拡大防止措置として電話出演にて実施した。

市民活動団体が不得意とする広報（情報発信）の支援として取組んだFMラジオへの出演であり、毎週月曜日の放送出演団体が令和2年度は52団体であった。

13)などセン利用者サービス向上への取り組み

- ・提案箱平成31年2月から、利用者の声を聴くために1階の情報交流室に「提案箱」を置き、自由に投稿できるようにした。

- ・利用者アンケート

平成31年2月に開始した会議室や印刷機の利用者にアンケート調査を令和2年度も行った。

- ・貸室利用者懇談会

令和元年12月にも貸室利用者の懇談会を行い、3年経過後の退室・継続時のルールと1か月前大師での募集方法について説明を行うとともに、名取市市民活動支援センターの管理運営についての意見や要望を聴取していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として開催を見合わせ、意見要望などをアンケートでの聴取を実施した。

14)その他

- ・名取市市民活動支援センター定期月次報告会

毎月の定期月次報告会を行い、発注者である名取市担当部局との意思疎通、情報共有を図った。（開催日：4/20、5/28、6/24、7/30、8/26、9/30、10/30、11/25、12/23、1/21、2/25、3/25）

- ・モニタリング

令和2年度の管理運営について、令和3年1月21日に名取市のモニタリングの現地調査を受けた。今後、4月に名取市から正式に文書で依頼を受け、モニタリング票を作成し、期限である5月7日までに提出する。（注：5月6日に提出済み）

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策について

①一部閉館を実施した

- ・令和2年4月6日～5月6日 貸事務室・印刷室（条件付き）以外の貸会議室・情報交流

室の利用を中止した。

- ・令和2年5月7日より、貸会議室の定員を1/2にして運営した。
- ・令和2年10月1日～令和3年2月末日まで貸会議室の定員を100%に戻し運営した。
- ・令和3年3月27日(土)～貸事務室以外の貸会議室・情報交流室・印刷室の利用を中止した。

②感染防止対策の実施

- ・前年度から継続的に対応。宮城県からの注意喚起情報掲出、手指消毒のアルコール設置継続（別棟を含む）を継続した。
- ・貸会議室利用再開につき利用団体へ基本事項実施依頼（マスク着用、手指消毒実施、2m人との間隔を空ける、1時間に1回程度換気の実施）を周知徹底した。
- ・貸室使用後の机、椅子、エアコンスイッチ、ドアノブなどの消毒のほか、定期的に共用部分の消毒を行った。
- ・コロナ感染防止対策として正面出入り口にサーマルカメラ付き検温・消毒ボードを設置した。

③その他

- ・コロナ感染予防対策備品について対策本部に要望提出した。
- ・センター利用団体の寄付を取りまとめ、布マスク14セットを社会福祉協議会へ寄付した。

(4) 地震時の対応について

令和2年度も震度4を超える地震が頻発した。中でも2月13日と3月20日には閉館時間帯にそれぞれ最大震度5強、5弱の地震があり、大きな被害はなかったものの対応に追われた。

〈福島県沖地震発生〉

- ・2月13日(土) 福島県沖地震 最大震度6強 23:08 名取市震度5強

〈宮城県沖地震発生〉

- ・3月20日(土・祝) 宮城県沖地震 最大震度5強 18:09 名取市震度5弱

(5) 指定緊急避難場所化について

かねてからの周辺住民の要望や市議会議員からの質問等を受け、名取市では洪水時のみの緊急避難場所として位置づけをしたいとの打診があった。そこで、市民協働課を窓口防災安全課と協議を続け、令和3年3月5日に「災害時における一時避難施設として、名取市市民活動支援センターを使用することに関する覚書」を締結しました。3月15日には、災害用倉庫に非常用物品が搬入された。

II 組織運営に関する事項

1. 理事会の開催

理事会を月1回のペースで合計12回開催し、事業の執行及び組織の運営に当たった。

第68回	4月19日(日)	10:00~12:00	尚綱学院大学エコラボ
第69回	5月10日(日)	10:00~12:00	尚綱学院大学エコラボ
第70回	6月28日(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター 会議室 大
第71回	7月26日(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター 会議室 大
第72回	8月30日(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター 会議室 大
第73回	9月27日(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター 多目的室
第74回	10月24日(土)	19:00~21:30	市民活動支援センター 会議室 小
第75回	11月22日(日)	10:00~12:00	市民活動支援センター 会議室 小

第 76 回 12 月 27 日（日） 10：00～12：00 市民活動支援センター 会議室 小
第 77 回 1 月 31 日（日） 10：00～12：00 市民活動支援センター 会議室 中
第 78 回 2 月 28 日（日） 10：00～12：00 市民活動支援センター 会議室 中
第 79 回 3 月 21 日（日） 10：00～12：00 市民活動支援センター 会議室 中

2.団体の広報

当法人は独自ドメインを取得し、平成 26 年 3 月 23 日にホームページをさくらインターネット(株)のレンタルサーバーを使用してホームページを開設しており、令和 2 年度はそのホームページを維持した。URL は <https://ps-natori.org> である。

3.会員

正 会 員： 個人 13 名
 団体 1 団体
賛助会員： 団体 1 団体

4.職員の採用と人事管理

スタッフは、令和 2 年 2 月 11 日採用試験を実施したが不採用とした。

5.職員の研修

職員のスキルアップのため、18 回の講座・講習会等の研修にのべ 23 人を派遣した。

6.事務局通信の発行

「伝書ぱと」第 6 号、第 7 号を発行し、会員に送付した。